

平成31年度大学院地球社会統合科学府

修士課程（冬季）入学試験

入学試験問題

日本語

注意事項

1. 問題は「はじめ」の合図があるまで開けないこと。
2. 試験開始後、解答用紙に受験番号等を明記すること。
3. 解答用紙は、必ず全部提出すること。
4. 問題冊子は持ち帰ってよい。
5. 指定の解答用紙を用いること。

問題 次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。(30点)

「WEB 公開版では著作権法上の問題により、問題文原文を削除した。

問題文は酒井邦嘉「科学と非科学の境」『科学者という仕事』に関する内容の和文(32行)」

問1. 文中の空欄、からに入る最も適切な語を、次の選択肢の中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。(3×6=18点)

- ア.だから イ.そして ウ.とはいえ エ.そもそも オ.しかし
カ.なぜなら キ.むしろ ク.たとえば ケ.たしかに コ.つまり

問2. 本文中の下線部の(A)(B)の「それ」とはそれぞれ何を指しているか、具体的に答えなさい。(3×2=6点)

問3. 筆者の主張を 20字以上30字以内でまとめなさい。(6点)

問題II 次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。(50点)

「WEB 公開版では著作権法上の問題により、問題文原文を削除した。

問題文は今井むつみ『学びとは何か 探究人 になるために』に関する内容の和文(48行)」

問1. 本文中のカタカナで表記された下線部 ~ を漢字で書きなさい。(2点×4=8点)

問2. 本文中の下線部 ~ の読みをひらがなで書きなさい。(1点×4=4点)

問3. 本文中の空欄、からに入る最も適切な語を、次の選択肢の中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。同じ記号には同じ語が入ります。(2点×5=10点)

- ア 強さ イ 高さ ウ 速さ エ 直観力 オ 努力
カ 記憶力 キ 結果 ク 工夫 ケ 原因 コ 事実

問4. 下線部(A)「それ」とはどのようなことか、「それ」がさす内容を、本文中の語句をそのまま抜き出す形で答えなさい。(4点)

問5. 下線部(B)「超一流のレベルにまで達する「天才」と呼ばれる人たちには、いったいどんな特徴があるのだろうか」とあるが、筆者は「どんな特徴」があると考えているのか、30字以内で簡潔に答えなさい。(4点)

問6. 下線部(C)「このようなサイクル」、(D)「そのような性格」とは何か、それぞ

れがさす内容を、本文中の語句を使って説明しなさい。

(5点×2=10点)

問 7. 本文の内容を通して筆者が主張したいことは何か、50字以内で説明しなさい。

(10点)

問題 作文 (20点)

2018年2月公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンが発表した『子どもに対するしつけのための体罰等の意識・実態調査』の結果によると、子どもに対する「しつけとしての体罰」を容認する大人は6割近くにのぼっている。日本の法律では、学校などでの体罰および家庭などでの虐待は禁止されているが、家庭などでの体罰については明確に禁止されているわけではない。しかし一方で、日本は国際条約である「児童の権利に関する条約」の批准国でもあり、子どもに対する体罰は、どんなに軽いものであっても子どもに対する暴力であり禁止されるべきであると明確に規定されている。以上のことを踏まえ、自身の命に係わるようないたずらをしている3歳児に対し、「しつけ」としてそのお尻を叩くという行為の是非について、あなたの立場を明らかにしながら、380字から400字で論じなさい。